

# 長中の学び

「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」をめざして  
(4つの約束と心構え)

# 昨年度から聞かれた不安や悩み・・・

- 宿題が原則廃止されて勉強しなくなった。
- どんな勉強をすればいいのだろう。
- 学び合いの授業とはどんな授業なんだろう。
- 学び合いの学習で大切なことは

# 本日のお話

- 1 長中生の目指す姿
- 2 長崎中学校の学習の基本
- 3 みんなで学ぶための4つの約束
- 4 4つの授業の心構え

# そもそもの話

頭の良し悪しは生まれ決まっています。変えられない

頭のいい人は努力をしなくてもいい

勉強しても賢くはなら

記憶のスピードや要領の良さが真さとは限らない

脳は勉強すればするほどプラスが結合して賢くなる

幅広く学習することが何かに秀でることにつながる

長中生のめざす姿：

「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」

「しなやかに考える」とは・・・

「どうせできない」とか「私には無理」ではなく

「どこを工夫すればいいかな」とか

「ここを改善すればできるかも」と

目標を達成するための方法を考える

長中生のめざす姿：

「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」

「あきらめずに挑戦する」とは・・・

たとえつまずいたり、壁にぶつかったとしても、

目標を達成するためにさらに挑戦する

# そのために

## 学び合いを充実する

教えてもらう学習では、自ら課題を解決する場面は限られる。

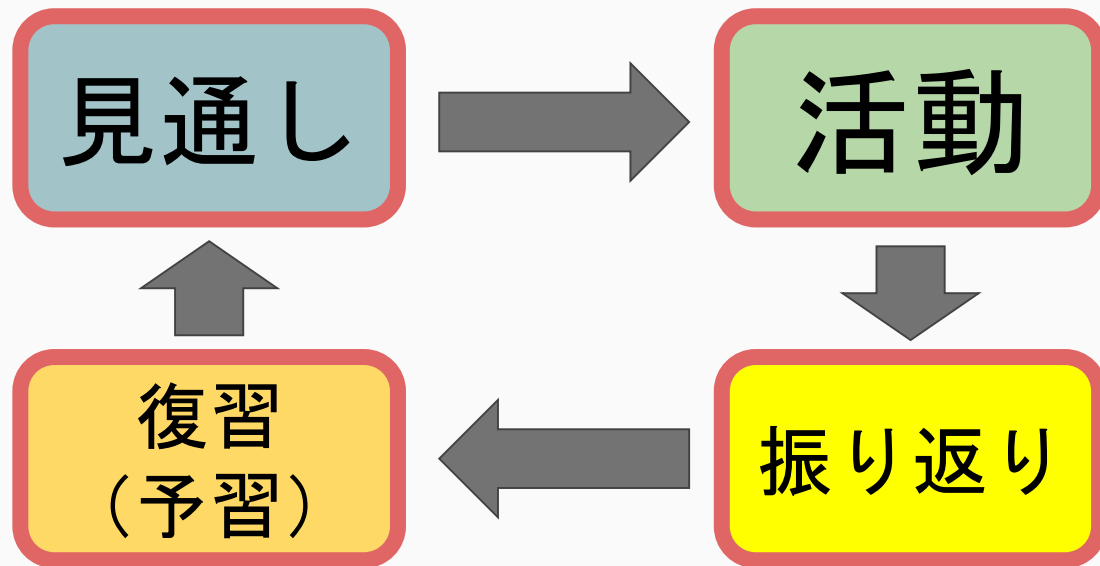
各教科の授業の中で、課題解決をする学習の機会を増やす。

※その際、ペアやグループでの学習の機会を設ける。

先生方はみなさんの応援団

学び合いが充実するために学び合いの環境をつくり  
ます。

# 長崎中学校の学習の基本



大切なのは、4つ  
の場面の意味を考  
えて取り組むこと



# 見通し

長中スタンダード 「な」流れをつかむ

見通しは、**授業のゴールまでをイメージ**

- ・ 本時（本単元）の学習の課題は何か。
- ・ どうやって調べるか。（教科書、関連図書、インターネットなど）
- ・ 表現方法はどうか。（ワークシートにまとめる、模造紙にまとめる、ドキュメントでまとめる など）

# 活動

長中スタンダード 「が」我慢強く考える・「さ」さらに深め

活動は、「できない（わからない）」を  
「できる（わかる）」にする

- ・一人では解決が難しい課題はペアやグループの力を借りよう。
- ・級友のいい考えやいい取組は積極的に取り入れよう。
- ・ペアやグループで活動するときは、まずは相手の話を聴く。

# 振り返り

長中スタンダード 「き」 キーワードで振り返る

振り返りは、**次の学習の準備**

- ・「できた（わかった）」ことと「できなかった（わからなかった）」ことを整理する。
- ・次の授業までにどんな復習（予習）をすればいいか考える。
- ・学習を通じて成長したことを整理する。

## 復習 (予習)

復習（予習）は、**学びを深める**

- ・学んだことを理解できているか、デジタルドリルやワークブックで確かめる。（「できる（わかる）」まで繰り返す）
- ・授業で気になったことを調べ、自分のことばでまとめる。
- ・教科書を読み込む。（ポイントと思われるところに線を引く）

# 授業はみんなで創る

みんなとは

長崎中学校のすべての一人一人です。

**生徒、先生の全員**です。

「生徒のだれ一人取り残さない」

4 質の高い教育を  
みんなに



# みんなで学ぶための4つの約束

みんなで**気持ちよく学ぶ**ためには約束（共通のきまり）が必要

どんな約束が必要かな？

# みんなで学ぶための4つの約束（その1）

## 3・2・1運動

気持ちを落ち着かせて授業

開始を待つ

禪

## みんなで学ぶための4つの約束（その2）

相手の意見や考えを**しっかりと聴きます**

何を言いたいのか理解しようと努力する

相手が言いたいことや聞きたいことを整理し

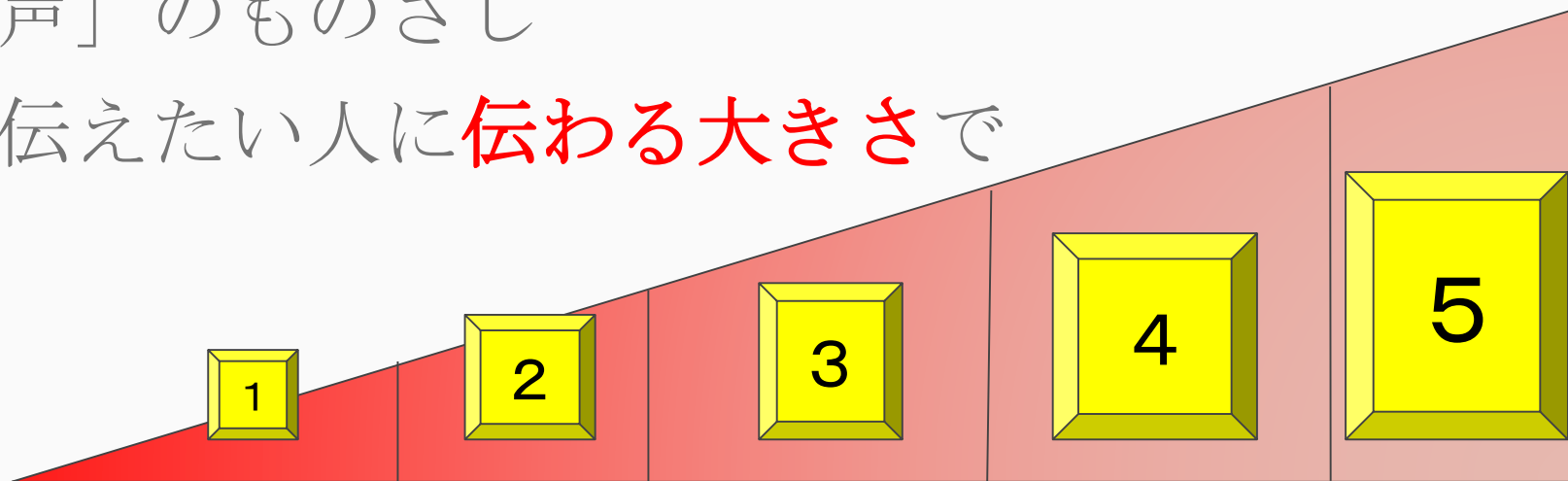
てかみ合う議論を心掛けよう



# みんなで学ぶための4つの約束（その3）

「声」のものさし

伝えたい人に**伝わる大きさ**で



**と**なりの人  
と話を**する**

**グループ**  
で話し**合う**

**全体**で  
話し**合う**

教室の**前**で  
**発表**する

**グラウンド**  
で呼び**かける**

## みんなで学ぶための4つの約束（その4）

机の上はすっきり**整理・整頓**

机の上はみなさんの頭の中を表している

すっきり整理して、考え上手になろう

※使っていない教科書やPCは机の中へ

## 4つの授業の心構え（その1）

分からないときは「**分かりません**」と言う

「分からない」って声を上げることは、勇気がいります。

分からないことは恥ずかしいことではありません。

分からないことをそのままにすることがもっと恥ずかしいことです。

みんなで分かっていくのが長中です。

## 4つの授業の心構え（その2）

「ここどうするの」と聞かれたら

### 丁寧に分かるまで説明する

- ・もし、仲間が「分からない」と言ってきたら、  
自分がわかっているところまででいいので  
丁寧に説明しよう。
- ・自分の理解度を確認する。

## 4つの授業の心構え（その3）

どうしても分からなかったら、

**見せてもらっても構わない**

テスト以外なら、どうしても分からないときは仲間のノートやプリントを見せてもらっても構いません。

その際、「どうしてこうなるの？」と解き方や考え方を聞けるようになりましょう。

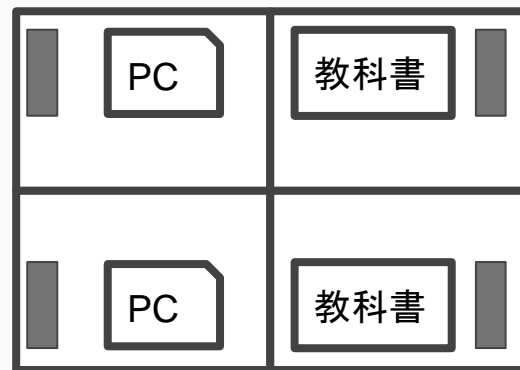
## 4つの授業の心構え（その4）

### 学び合いの場は自分たちでつくる

ペアやグループ学習では机はきちんとつける。（例）

必要のない教材は出さない。

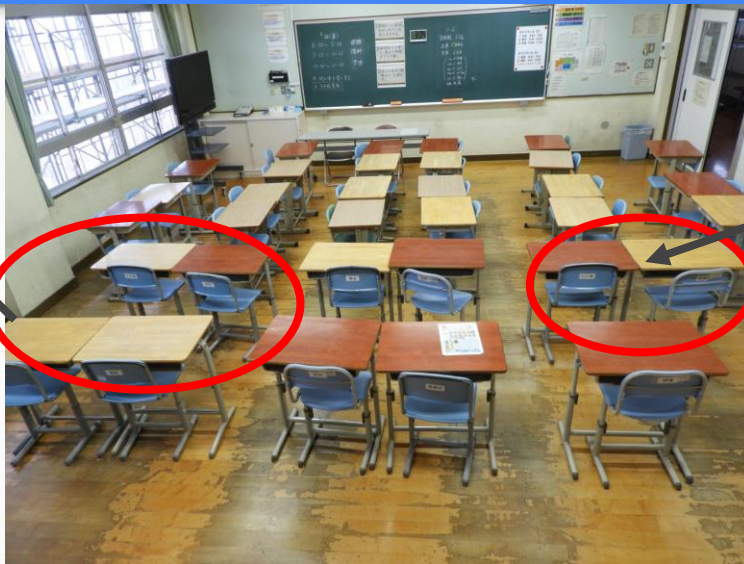
ペンケースは机の端へ。



# 学びの隊形（コの字、ペア、グループ）



③グループ学習は前の席のペアが後ろ向きに机を合わせる



①授業の始まりはコの字隊形

②ペア学習は座席の移動なし

# 「学び合い」とは

「学び合い」は**学習問題をチームで解決する**ために行います。

チームは、共通の目的（学習問題の解決）のために力を合わせます。

チームの人数は、おおむね4名。